

シカク

色や形だけで安心して

さりげなく共通点を探してた

見えないように



見られないように



Photo: Marie Nosaka

『ハウリング』(2016年)

ASA-CHANG&巡礼

1997年、ASA-CHANGソロユニットとして始動。世界各地の音楽誌にてベストアルバムに選出されるなど国内外から高い評価を得る。2012年より後関好宏、須原杏をメンバーに迎え、コンテンポラリーダンサーとの舞台公演や、映画・アニメへの楽曲提供、舞踏家・映像作家・漫画家とのコラボレーションなど、既存の音楽の枠に捕らわれない活動を展開している。2016年3月には7年半振りのアルバム『まほう』をリリース。
<http://junray.com>

イデビアン・クルー

コンテンポラリーダンス界の異才、振付家・井手茂太が主宰するイデビアン・クルーは、1991年に結成。1995年の旗揚げ公演以来、国内をはじめ世界7ヶ国23都市、のべ34箇所で作品を上演する。日常の何気ないイコマ、日常に潜むしぐさや視線、人間関係を切り取り、独自の解釈に基づいた音・空間・間(ま)をいかしたユニークな世界観を創造。異分野のアーティストとのコラボレーションにも積極的に取り組んでいる。近作に『ハウリング』(2016)『図案』(2014)など。2017年9月に新作公演を予定。
<http://www.idevian.com/>

井手 茂太

既存のダンススタイルにとらわれない自由な発想で、集団内でのコミュニケーションをモチーフに、日常の身振りや踊り手の個性を活かしたオリジナリティ溢れる振付手法で、ダンス公演のみならず、演劇作品やTV-CM、ミュージックビデオの振付・出演など、幅広いジャンルで活動する。主な受賞歴にドイツ ARENA FESTIVAL 95観客賞、第11回 読売演劇大賞優秀スタッフ賞、第3回アサヒビール芸術賞、第2、3回日本ダンスフォーラムなど。



Photo: Miwa Ogata

フェスティバルトーカー実行委員会	
顧問	野村 真 公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 会長、能楽師 株式会社資生堂 名誉会長
名誉実行委員長	高野之夫 豊島区長
実行委員長	堀地茂雄 公益財団法人新国立劇場運営財団 顧問、アサヒビール株式会社 社友
副実行委員長	NPO 法人アートネットワークジャパン 会長 小澤弘一 豊島区文化工部局長 東澤 昭 公益財団法人としま未来文化財団 常務理事 / 事務局長
委員	尾崎元規 公益財団法人企業メサ協議会 理事長、花王株式会社 顧問
	熊倉純子 東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科 教授
	斉藤幸博 株式会社資生堂名誉文化部長
	鈴木敦子 アサヒビール株式会社経営企画本部社会環境部 部長
	鈴木正美 東京商工会議所豊島支部 会長
	永井多恵子 公益財団法人せたがや文化財団 理事長
	樋友久夫 豊島区文化工部局文化デザイン課長
	岸 正人 公益財団法人としま未来文化財団 部長
	瀧池高純子 NPO 法人アートネットワークジャパン 理事長
	斎藤円花 フェスティバルトーカー 事務局長

監事	佐々木英津子 豊島区総務部総務課長
法務アドバイザー	堀井健策・北澤尚登(骨董通り法律事務所)
フェスティバルトーカー実行委員会事務局	
ディレクター	市村作知雄
副ディレクター	河合千佳
事務局長	斎藤円花
制作	喜友名織江、十万聖紀子、荒川真由子、砂川史織、松嶋瑞奈、松宮俊文、横井貴子、岡崎由美子、三平文乃、藤井友理、細川浩伸、米原晶子
営業	長原理江
広報	小島明紀子、武田裕子
経理	堀 久美子
総務	平田幸美
票券	武井和英
チケットセンター	佐々木由美子、佐藤久美子

技術監督	寅川英司
技術監督アシスタント	河野千鶴
照明コーディネーター	佐々木美津子(株式会社フックター)
音響コーディネーター	相川 晶(有限会社サウンドウィーズ)
アートディレクション	氏家啓雄(有限会社氏家プランニングオフィス)
イラスト	naomi@paris.tokyo
ウェブサイト	竹下雅哉(有限会社氏家プランニングオフィス)
海外広報・翻訳	ウィリアム・アンドリュース
衣装	渡辺 淳
コピーライティング	鈴木理咲子
プログラム・コーディネート	梅堀広彦
中国プログラム・コーディネート	小山ひとみ

主催	フェスティバルトーカー実行委員会 豊島区 / 公益財団法人としま未来文化財団 / NPO法人アートネットワークジャパン、 アークファンシブル東京・東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
----	--

アジアシリーズ共催	国際交流基金アジアセンター
協賛	アサヒビール株式会社、株式会社資生堂
後援	外務省、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、J-WAVE 81.3 FM
特別協力	西武池袋本店、東武百貨店池袋店、東武鉄道株式会社、 株式会社サンシャインシティ、チャコト株式会社

協力	東京商工会議所豊島支部、豊島区商店街連合会、豊島区町会連合会、 一般社団法人豊島区観光協会、一般社団法人豊島産業協会、公益社団法人豊島法人会、 池袋西口公園連合会、特定非営利活動法人セファ・池袋まほう通り、 池袋西口公園活用協議会、南池袋公園をよくなる会、ホテルメトロポリタン、 ホテルブランドシティ、池袋ホテル会
----	---

宣伝協力	株式会社ポスターハリス・カンパニー、早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
------	------------------------------------

平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業
(池袋/としま/東京アーツプロジェクト事業、としま国際アートフェスティバル事業)

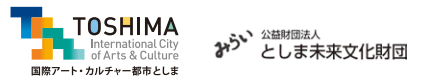
公益社団法人企業メサ協議会 2021芸術・文化による社会創造ファンド採択事業

フェスティバルトーカー16は東京芸術祭2016の一環として開催されます。

インターン
雨宮彩乃、猪狩文花、石川美希、白村遥志、岡村貴秀、小川瀬香、甲斐ひろた、藤原麻結、栗川知樹、
龍田博美、坂田佳実、横山真文、篠原 真、島田美枝、程 美形、戸田道幸、中山 徹、西島彩貴、堀井 花、
松下怜未、松村珠美、美和咲紀、森 洋介、山崎衣理、山田あい子、山本萌子、横山愛里、吉原啓介

スペシャルサンクス: F1サポーターのみなきま

会期:平成28年(2016年)10月15日(土) - 12月11日(日)



発行:フェスティバルトーカー実行委員会
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-15-10 東区民事務所3階
TEL: 03-5961-5202 <http://www.festival-tokyo.jp/>
編集:フェスティバルトーカー実行委員会事務局、鈴木理咲子 デザイン:小林 剛 (LUNA)

Festival/Tokyo Executive Committee
Advisors:
Man Nomura (Chair, Japan Council of Performers Rights & Performing Arts Organizations, Noh actor)
Yoshiharu Fukuhara (Honorary Chair, Shiseido Co., Ltd.)

Honorary President of the Executive Committee: Yukio Takano (Mayor of Toshima City)

Chair of the Executive Committee:
Shigeo Fukuchi (Advisor, New National Theatre Foundation, Senior Alumnus, Asahi Breweries, Ltd.)

Vice Chair of the Executive Committee:
Sachio Ichimura (Director, NPO Arts Network Japan (NPO-ANJ))
Kouichi Ozawa (Director of Culture, Commerce and Industry Division of Toshima City)
Akira Touzawa (Director of Secretariat of Toshima Mirai Cultural Foundation)

Committee Members:
Motoki Ozaki (President, Association for Corporate Support of the Arts, Corporate Advisor, Kao Corporation)
Sumiko Kumakura (Professor, Department of Musical Creativity and the Environment, Tokyo University of the Arts)
Yukihiko Saito (General Manager, Corporate Culture Department, Shiseido Co., Ltd.)
Atsuko Suzuki (General Manager, Social & Environmental Department, Asahi Breweries, Ltd.)
Masami Suzuki (Chair, Tokyo Chamber of Commerce and Industry Toshima)
Taeko Nagai (Chair, Setagaya Arts Foundation)
Tomohisa Higuchi (Culture, Commerce and Industry Division of Toshima City, Director of Cultural Design Section)
Masato Kishi (Executive Manager of Toshima Mirai Cultural Foundation)
Naoko Hasulke (Representative, NPO Arts Network Japan (NPO-ANJ))
Madoka Ashihara (Administrative Director, Festival/Tokyo)
Chika Kawai (Vice Director, Festival/Tokyo)

Supervisor: Mitsuko Sasaki (General Affairs Division, Director of General Affairs Section of Toshima City)
Legal Advisors: Kensaku Fukui, Hisato Kitazawa (Kotko Dori Law Office)

Festival/Tokyo Executive Committee Secretariat
Director: Sachio Ichimura
Vice Director: Chika Kawai
Administrative Director: Madoka Ashihara
Production Coordinators:
Orie Kijana, Akiko Juman, Mayuko Arakawa, Shiori Sunagawa, Luna Matsushima, Toshifumi Matsumiya, Takako Yokoi,
Yumiko Okazaki, Ayano Misao, Yurii Fujii, Hiromitsu Hosokawa, Akiko Yonehara
Sales & Planning: Rie Nagahara
Public Relations: Akiko Ogura, Yuko Takeda
Accounting: Kumiko Tsutsumi
Administrator: Saki Hirata
Ticket Administration: Kazumi Takai
Ticket Center: Yumiko Sasaki, Kumiko Sato

Technical Director: Eiji Torakawa
Assistant Technical Director: Chizuru Kouno
Lighting Coordination: Makiko Sasaki (Factor Co., Ltd.)
Sound Coordination: Akira Aikawa (Sound Weeds Inc.)

Art Direction: Yoshio Ujiiie (Ujiiie planning office)
Illustrations: naomi@paris.tokyo
Website: Masaya Takeshita (Ujiiie planning office)
Overseas Public Relations, Translation: William Andrews
Merchandise: Jun Watanabe
Copyrighting & Editing: Rikako Suzuki
Program Coordinator: Masahiko Yokobori
Chinese Program Coordinator: Hitomi Oyama

Organizers:
Festival/Tokyo Executive Committee,
Toshima City, Toshima Mirai Cultural Foundation, NPO Arts Network Japan (NPO-ANJ),
Arts Council Tokyo & Tokyo Metropolitan Theatre (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture)
Asia Series co-organized by the Japan Foundation Asia Center
Sponsored by Asahi Breweries, Ltd., Shiseido Co., Ltd.
Endorsed by Ministry of Foreign Affairs, GEDANKYO, J-WAVE 81.3 FM
Special co-operation from SEIBU IKBUKUROHONTEN, TOBU DEPARTMENT STORE IKBUKURO, TOBU RAILWAY CO., LTD.,
Sunshine City Corporation, ChacoCo., Ltd.
In co-operation with Tokyo Chamber of Commerce and Industry Toshima, Toshima City Shopping Street Federation,
Toshima City Federation, Toshima City Tourism Association, Toshima Industry Association, Toshima Corporation
Association, Ikebukuro Nishiguchi Shopping Street Federation, NPO Zephyr, Ikebukuro West Gate Park Management,
Neighborhood of the Minami Ikebukuro Park, Hotel Metropolitan Tokyo, Hotel Grand City, Ikebukuro Hotel Association
PR Support: Poster Hari's Company, Waseda University Tsubouchi Memorial Theatre Museum

Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal 2016

Supported by Association for Corporate Support of the Arts, Japan
(2021 Fund for Creation of Society by the Arts and Culture)

Festival/Tokyo 2016 is organized as part of Tokyo Metropolitan Festival 2016.

Period: October 15 (Sat) to December 11 (Sun), 2016

イデビアン・クルー

シカク

振付・演出: 井手茂太

idevian crew

Blind Spot

Choreographed and Directed by Shigehiro Ide

2016.

10.21 Fri - 10.29 Sat

にしすがも創造舎

Nishi-Sugamo Arts Factory



FT Festival//Tokyo

イデビアン・クルー

皮肉と諧謔がダンスと共存する

石井達朗(舞踊評論家)

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

日本のコンテンポラリーダンスは、学閥や学歴、師弟関係や世代差・男女差などには左右されず、なによりも個人のオリジナリティを軸にしてきた。世間的な体裁や価値観に重きをおきがちな文化のなかでは、これは画期的なことだ。コンテンポラリーダンスが目に見えるかたちで興隆したのが1990年代初め。90年代後半にはかなりの盛り上がりを見た。

そんなコンテンポラリーダンスの一翼を、その頃からしっかり担ってきたのが、井手茂太が主宰するイデビアン・クルーである。今年が結成25周年。デビューしたと思ったら知らないあいだに消えている個人やカンパニーが少なくないなかで、ぶれることなく独特の個性を保ちながら活動を維持している。とくに（個人のソロでなく）数人、あるいはそれ以上のグループ作品を、井手が生み出し続けているのは特筆に値する。

そして新作『シカク』が、フィナーレを迎えるにすぎずも創造舎で放たれる。『挑発スタア』（2009年）というイデビアン・クルーの魅力全開の舞台をここでやったことがあり、井手はこのがらんとした空間をどう使えばいいか、よくわかっているはずだ。『シカク』で注目すべきはもうひとつ、ASA-CHANG&巡礼が音楽を担当することである。そういえばASA-CHANGと井手、音楽とダンスというジャンルの違いこそあれ、流行に囚われずひたすら我が道をゆく、ちょっとオブビートなクリエイションのセンスがどこか似ている。ふたりは旧知の仲でもある。『理不尽ベル』（2003年）という、ママチャリが30台近く舞台を走り抜ける作品と一緒に仕事をしている。『シカク』では、二人の欠々の共演がこの場所の最後を飾ることになる。

井手の作品には、いつもコミカルで日常の仕種からくる写実的なものが流れている。しかしこんな「コミカルな日常」がすべてかと言うと決してそうではない。井手がやること、なかなか一筋縄では捉えられない。仕種の意味を追っていこうとすると、ありきたりの意味など蹴散らすようにいつの間にか奇妙でダンシーでスピーディーな動きが律動している。そして誰にも真似できない群舞の妙。

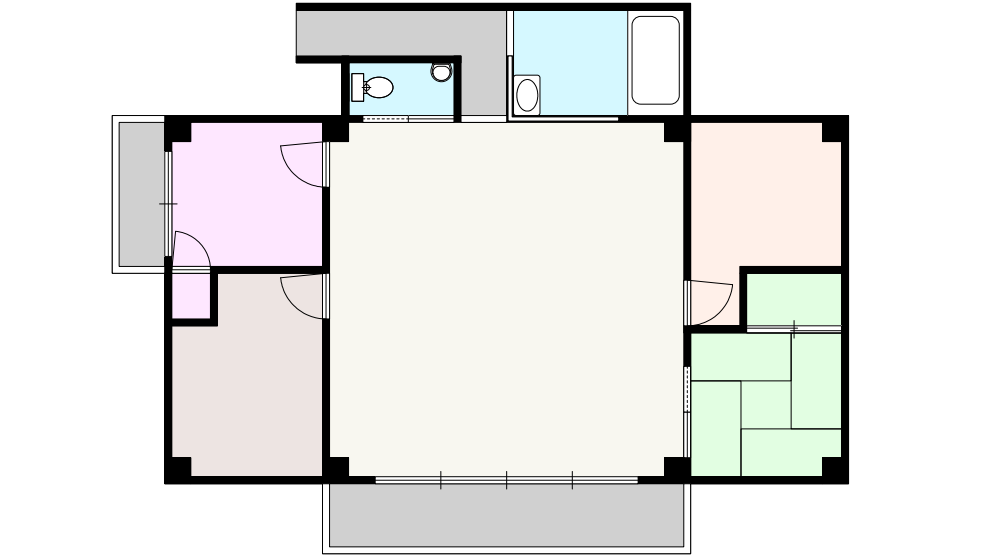
ダンサー間のノンヴァーバルなコミュニケーションとダンスコミュニケーションが交錯して面食らっていると、おかしなダンスが流れている——そんな経験を、イデビアン作品を見てきた者は経験しているに違いない。悲劇でもなく喜劇でもなく、両者のあわいにある日常の皮肉と諧謔が生きのいいダンスと共存しているのだ。

『シカク』は、そんな井手の創作方法を密度濃く見せる作品になりそうな気がする。同じ空間で共同生活する4名という設定だが、男女別々のヴァージョンをつくる。これは前代未聞である。同じ作品でありながら男性版女性版があるなんて、今の時代に果たしてどれだけ意味があるのかと問う人もいるだろう。しかし実はこれ、かなり難しい挑戦である。カンパニー結成25周年の井手が敢えて向き合う高いハードルなのだ。

身体表現の社会文化的に培われた男女差というのは、歴然と存在している。であるからこそ、古今東西の演劇や舞踊は、このジェンダー間の差異や対立や融和を、秘めたる戦略と作り手の才知をかけて描いてきた。もちろん異性間ばかりでなく同性間にも「惚れた腫れた」ほか多様な表情があり、その明晰な表れとして7、80年代アメリカのゲイシアターやレズビアン演劇は、それを陰影をもって描いてきた。

井手が『シカク』で試みるのは、そういうものとは一線を画する。男女別々のヴァージョンがあるのだが、あくまで同一の作品であるということだ。かなり稀な創作である。井手自身はそのことをどう思っているのだろうか。8月初めに井手とASA-CHANGにインタビューした時には、井手は以下のように語っていた。

男性女性を混ぜてつくと、かえってありがちなシチュエーションができてしまうので、それなら別々にしようと思いました。女子寮のなかの女同士の目線とか、男子寮のなかの男同士の目線とか……。昔からこういうふうにして男女別々の作品をつくってみたいと思っていました。



2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

容易いことではないことを百も承知だが、これは彼が昔からやってみたいことであったのだ。そんなふうに言われて、井手のこれまでの作品を思い返してみると、彼はジェンダーパターンを類型化することもしないし、かと言って意図してジェンダーレスな作品をつくってきたわけでもない。それでいて井手作品のなかでのジェンダー表現は極めて自然体で嫌みがない。言葉を代えれば井手は意図せずしてジェンダーフリーな感覚の作品をつくってきたと言える。同インタビューで、ASA-CHANGはその辺のことをこう語った。

今回、井手ちゃんはジェンダーとかがから離れて、井手ちゃんのピーピング能力がでてくると思う。井手ちゃんって、社会に対しての覗き屋さんですよ。そういうところが大好きで、そこに音が乗っかったり、突ついたりできればいいなと思う。音づくりの過程では男性女性を考えてない。同じビートが連続していって脱臼するような感じをやってみたい。井手ちゃんの動きも脱臼するところがあるから……。

井手の「ピーピング能力」という表現は聞いたことがなかったが、井手をよく知るASA-CHANGならではの言葉だ。たしかに井手の作品では、井手が覗き、観察し、咀嚼したものが巧みなカリカチュアとなって舞台という仮構

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

をとり抜けてゆく。そこで、わたしも10月初めになって、にしずがも創造舎の稽古場をそっと「ピーピング」させてもらった。

思っていたとおり、否、思っていた以上に緻密なつくりになりそうだ。サウンドはすでに出来上がっている。作品は男女別々だが、稽古は男女一緒である。同じシーンを男たちが踊ると、次に女たちが踊り、また男たちが……というふうに、男女かわるがわるの稽古場の光景が面白い。下手と上手にそれぞれ二部屋ずつあり、真ん中のスペースがいわば「居間」という共有の空間で、4人の群舞が展開する。他人同士でありながら、たまたま「疑似家族」のように部屋をシェアすることになった4人の気遣いとぎくしゃく感が、ダンスに変貌しつつある。4人の男性のうち一人は井手である。これまでの作品でもそうだが、長編作品を自分で振付けて踊るという難事業を、ごく当り前のようにこなしているばかりか、楽しんでいるふうでもある井手のエネルギーには感服。

本番の舞台では互いに出会うことのない、4人の男たちと4人の女たち。井手は別れぎわ、「基本的に振付けは男女同じだけれど、ちょっと違うところも出てきそう……」と言っていた。遠くて近く、近くて遠い男性（版）と女性（版）。井手はそこにどんな不可思議を覗き見ているのだろうか。井手に思われぬシカクを突かれないう

に、われわれも公演当日は気をつけよう。

今後の出演情報

イデビアン・クルー
新作公演
2017年9月 予定
http://www.idevian.com

井手茂太／振付
NODA・MAP『足跡姫～時代錯誤冬幽霊～』
2017年1月18日～3月12日
東京芸術劇場プレイハウス

こまつ座『私はだれでしょう』
2017年3月
紀伊國屋サザンシアター

印象派NEO Vol.3『不思議の国の白雪姫』
2017年3月9日～12日
世田谷パブリックシアター

ジョン・ケアード演出『ハムレット』
2017年4月9日～28日
東京芸術劇場 プレイハウス

「シカク」
演出・振付：井手茂太
出演：斉藤美音子、依田朋子、宮下今日子、福島彩子（Aキャスト）
小山達也、中村達哉、松之木天辺、井手茂太（Bキャスト）
音楽：ASA-CHANG & 巡礼
照明：齋藤茂男
照明操作：是安理恵
音響：鳥 猛
音響操作：牧野南美
舞台美術：青木拓也
衣裳：堂本教子
衣裳助手：土田ひとみ
舞台監督：横尾友広
舞台監督助手：宮崎祐介
演出助手・稽古場進行：後藤海春
映像：黒川 貴、丹澤由棋
宣伝美術：川村格夫
写真：野坂茉莉絵
制作：立川真代（days）、松嶋瑠奈（フェスティバルトーキョー）
インターン：小川潮音、甲斐ひろな、松下伶未
フロント運営：濱賀未央

協力：奥野将徳（ペーハー）
製作：days
共同製作：フェスティバルトーキョー
主催：days、フェスティバルトーキョー
助成：芸術文化振興基金

Choreographed and Directed by Shigehiro Ide
Performers:
Mineko Saito, Tomoko Yoda, Kyoko Miyashita, Ayako Fukushima (A cast)
Tatsuya Koyama, Tatsuya Nakamura, Teppen Matsunoki, Shigehiro Ide (B cast)
Music: ASA-CHANG & Junray
Lighting: Shigeo Saito
Lighting Operator: Rie Koreyasu
Sound: Takeshi Shima
Sound Operator: Hiromi Makino
Stage Design: Takuya Aoki
Costumes: Kyoko Domoto
Costume Assistant: Hitomi Tsuchida
Stage Manager: Tomohiro Yokoo
Stage Manager Assistant: Yusuke Miyazaki
Assistant Director, Rehearsal Management: Miharu Goto
Video: Takashi Kurokawa, Yuki Tanzawa
Publicity Design: Tadao Kawamura
Photography: Marie Nosaka
Production Coordinators: Mashiro Tachikawa (days), Luna Matsushima (Festival/Tokyo)
Interns: Shione Ogawa, Hirona Kai, Remi Matsushita
Front of House: Mio Salga

In cooperation with Masanori Okuno (ph)
Produced by days
Co-produced by Festival/Tokyo
Presented by days, Festival/Tokyo
Supported by Japan Arts Fund

依田朋子／出演
Yukari OTA TERRITORHYTHM
『Time to go 2016』
2016年12月27日
Apocシアター

宮下今日子／出演
青娥館『中国の不思議な役人』
2017年3月
東京芸術劇場シアターウエスト

劇団動物電気 新作
2017年6月
下北沢駅前劇場

松之木天辺／出演
マサ子の間男 歌喜劇『清心（きよし）』
2016年11月10日～13日
東松原プロードアハウス

ミュージカル『50Shades!』
2016年11月28日～12月11日
新宿FACE
2016年12月28日・29日
サンケイホールブリーゼ

『美輪明宏を歌う～シャンソン・ド・ファンタジスト～』
2016年12月21日　サラヴァ東京

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

2017年9月、イデビアン・クルーのメンバーたち

